

## 議案第 29 号

### 小城市重要文化財の指定について

このことについて、別紙のとおり提出する。

平成 31 年 3 月 28 日提出

小城市教育委員会 教育長 大野 敬一郎

### 提案理由

平成 30 年 11 月 22 日付けで小城市文化財保護審議会へ諮問したことについて、平成 31 年 2 月 27 日付けで答申を受けたので小城市文化財保護条例第 4 条に基づき提出する。

これが、本議案を提出する理由である。

平成 31 年 2 月 27 日

小城市教育委員会 様

小城市文化財保護審議会  
会 長 金子 信二



小城市重要文化財の指定について（答申）

平成 30 年 11 月 22 日付け小文第 602 号で諮問を受けた下記については、星野氏が小  
城藩士となる以前の天正期から、江戸期を通じて明治初期までの活動を通覧するこ  
とができる点に特色があり、小城市重要文化財として十分価値を有するものと認められ  
ます。

記

文化財名 星野家文書 127 点 附 木箱（「御朱印、星野」、銘あり）  
袖印  
更紗裂

所 有 者 小城市

## 指定調書

- |              |                          |                                |
|--------------|--------------------------|--------------------------------|
| 1 種 別        | 小城市重要文化財（古文書）            | 重第 号                           |
| 2 名称及び員数     | 星野家文書 127 点              | 附 木箱（「御朱印、星野」銘あり）<br>袖印<br>更紗裂 |
| 3 所 在 地      | 小城市小城町 158 - 4 小城市立歴史資料館 |                                |
| 4 所有者の氏名及び住所 | 小城市 小城市三日月町長神田 2312-2    |                                |
| 5 概 要        |                          |                                |

当史料は、小城市小城町西小路の旧小城藩士星野家に伝来したもので、「御朱印」と書かれた木箱に納められている。天正期から明治初期にかけての文書史料の他に、小城藩三代藩主鍋島元武の小手の一部とされる布片や、戊辰戦争時に小城藩兵であることを示した袖印もあり、木箱を含め総数 130 点を数える。

星野氏は南北朝時代（1336～1392 年）に筑後地方東部（現八女市星野村・うきは市付近）で繁栄した豪族で、戦国時代には大友氏や島津氏に属した。多くの支族が各地に分散し、そのうちの一支族は豊臣秀吉の九州遠征後に鍋島氏に仕えるようになった。その後、元和 3（1617）年に鍋島元茂を初代とする小城鍋島家が創設された時に、鍋島直茂より譲り受けた八十三士の一人として元茂の家臣となり、当初は松崎姓を名乗るが江戸期を通じて小城藩士星野家として存続する。

当史料のうち天正期の文書には、大友義統及び大友氏の家臣や島津義久・義弘兄弟及び島津氏の家臣からの書状があり、九州地方での勢力争いの中で大友氏や島津氏に属する小領主として活動した星野氏の動向を知ることができる。また江戸期の文書には、佐賀藩初代藩主鍋島勝茂や歴代の小城藩主からの知行宛行状等がある。六代藩主鍋島直員（なおかず）からの書簡には、食糧や衣類を譲り渡すといった内容が記されており、藩主と家臣の日常的な関係も窺い知ることができる。

- 6 品質・形状及び制作年代等  
法量等の詳細は別紙一覧表のとおり。

- 7 その他参考となるべき事項
- ・当史料は平成 18（2006）年に小城藩士星野家の子孫より小城市に寄贈されたものである。
  - ・文書は包紙に包まれて木箱に納められていた。
  - ・文書の一部は、次に収録されている。  
佐賀県立図書館編『佐賀県史料集成』第 28 巻（1987 年）
  - ・小城市立歴史資料館では当史料の他に西家文書・遠岳家文書・富岡家文書・渋川家文書・日出島家文書（寄託）・薬王寺家文書（寄託）を収蔵している。

### <参考文献>

- 田久保佳寛（2007）「星野家文書について」『研究報告書』第 2 集  
小城市立歴史資料館・中林梧竹記念館
- 近藤晋一郎（2017）「鍋島直員の私信」『葉隠研究』第 83 号

## 8 審議会の意見

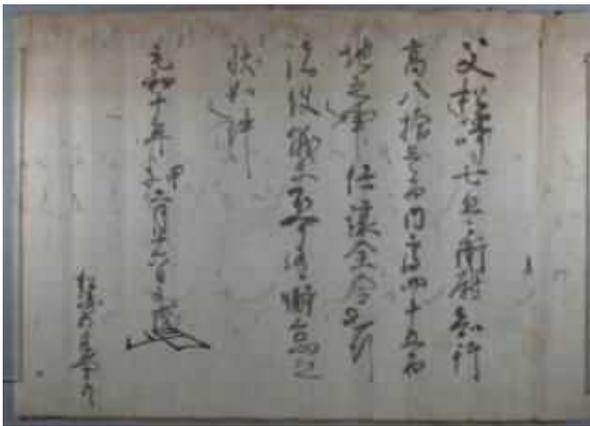
星野家文書は、星野氏が小城藩家臣となる以前の天正期から、江戸期を通じて明治初期までの活動を通覧することができる点に特色があり、小城市重要文化財として十分な価値を有する。

## 9 添付書類

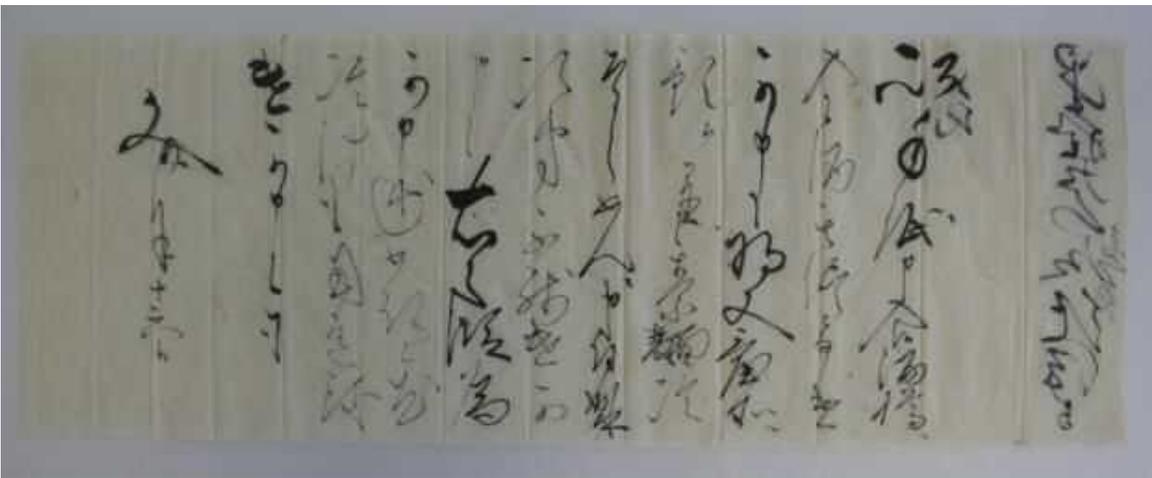
- (1) 写真
- (2) 星野家文書一覧表
- (3) 星野家略系図（小城市立歴史資料館作成）



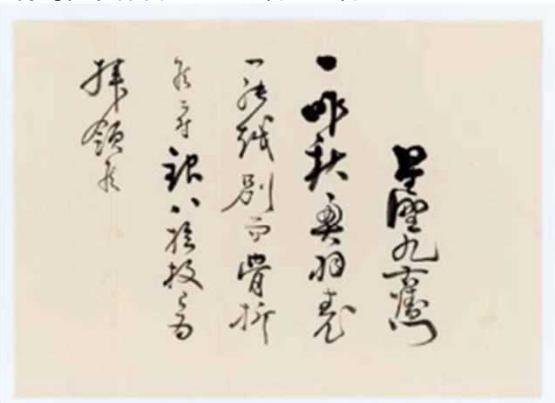
島津義久感状



鍋島元茂知行宛行状(小城藩初代藩主)



鍋島直員書状(小城藩6代藩主)



星野九右衛門宛褒状(戊辰戦争時)



こんぞく院様の御こての切



袖印(肥州小城星野九右衛門寛禎)



木箱



木箱「御朱印」部分



木箱「星野」部分

星野家文書一覽表

[星野家文書]

No	日付	西曆	差出人(作者)	受取人	事項	法量(cm) (たて×よこ)	備考	報告書 No.
1	天正七年七月十七日	1579	大友義統	星野弾正忠	星野弾正忠宛知行評付	16×43	包紙あり	35
2	七月十八日		親家	星野弾正忠	親家書状	16×41	包紙あり	39
3	天正十四年菊月廿一日	1586	義久	星野	島津義久感状	26×52	包紙あり	43
4	九月十五日		義珍	星野長虎	島津義珍(義弘)感状	17×52	包紙あり	37
5	九月十五日		忠元	星野熊虎	新納忠元感状	16×45	包紙あり	41
6	慶長十六年正月十一日	1611	鍋島勝茂	松崎甚九郎	鍋島勝茂知行宛行状	35×45	包紙あり	2
7	慶長十六年正月十一日	1611	鍋島勝茂	松崎七兵衛丞	鍋島勝茂知行宛行状	33×45	包紙あり	3
8	慶長十六年正月十一日	1611	鍋島勝茂	星野善兵衛丞	鍋島勝茂知行宛行状	33×45	包紙あり	4
9	元和二年二月十六日	1624	鍋島元茂	松崎十三	鍋島元茂知行宛行状	40×50	包紙あり	6
10	元和二年二月十六日	1624	鍋島元茂	松崎五郎右衛門	鍋島元茂知行宛行状	40×50	包紙あり	7
11	延寶四年十一月十六日	1676	加賀守	松崎十右衛門	鍋島直能知行宛行状	40×50	包紙あり	11
12	寶永六年五月廿四日	1709	紀伊守	松崎七兵衛	鍋島元武知行宛行状	32×42	包紙あり	14
13	明和九年七月	1772	加賀守	星野貞次郎	鍋島直愈知行宛行状	45×55	包紙あり	18
14	天明九年西正月	1789	星野猶人		星野猶人覚書	37×25		8
15	享和元年五月	1801	紀伊守	星野善兵衛	鍋島直知行宛行状	45×55	包紙あり	20
16	文化十四年二月	1817	加賀守	星野善兵衛	鍋島直亮知行宛行状	45×55	包紙あり	22
17	嘉永四年二月	1857	加賀守	星野二右衛門	鍋島直亮知行宛行状	45×52	包紙あり	24
18	文化十四年丑八月	1817	千手五兵衛、溝口庄八他	星野善兵衛	星野善兵衛等九名連署加増地渡状	40×80	包紙あり	30
19	文政六年未十一月	1823	本人武平、請人要吉	星野善兵衛	田地賣渡證文	25×40	包紙あり	26
20	文政九年戌十一月	1826	溝口庄八他	星野二右衛門	星野二右衛門等五名連署加増地渡状	32×65	包紙あり	52
21	天保五年午四月廿一日	1834	市川要左衛門他	星野二右衛門	勘定所手形覚書	26×31	包紙あり	28
22	天保六年十二月	1835	井上忠左衛門	西造酒	御貸附一件	32×55		16
23	天保十五年辰十一月	1844	常留又兵衛他	星野二右衛門	星野二右衛門等八名連署加増地渡状	30×76	包紙あり	32
24	元和五年八月三日	1619	元茂	松崎二右衛門	傳如件	17×17	包紙あり	61
25			さんい	すけさ殿	寶誉妙殊(三位)遺言	27×38	包紙あり	65
26					江月某書状	30×40	包紙あり	66
27	明曆三年迄				過去帳寫	18×60	包紙あり	120

28	三月七日		金栗			鍋島元武書状	15×45	包紙あり	佐県史28-10	59
29	九月廿一日		橋村肥前守	星野善兵衛		橋村肥前守書状	33×45			70
30	六月廿六日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	15×27	包紙あり		72
31	八月五日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	15×27	包紙あり		74
32	文月十六日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	13×35	包紙あり		76
33	六月廿二日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	18×32	包紙あり		77
34	六月十五日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	16×41	包紙あり		79
35	三月十九日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	18×30	包紙あり		80
36	極月十日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	22×28	包紙あり		82
37	七月十九日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	22×26	包紙あり		84
38	六月廿六日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	18×33	包紙あり		85
39	二月廿二日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	17×50	包紙あり		86
40	十二月十四日		紀伊守	星野九右衛門		松ヶ濱御書	22×26	包紙あり		88
41	十二月四日		紀伊守	星野九右衛門		星野九右衛門 紀伊守	21×27	包紙あり		89
42			若隠居			二月に捨たもふや	8×33	包紙あり		91
43			紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	16×46	包紙あり		93
44	十一月三日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	32×43	包紙あり		95
45						星野二右衛門等八名連署加増地渡状	13×33	包紙あり		97
46	九月廿二日		紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	22×28	包紙あり		98
47	七月十二日					鍋島直員書状	16×23	包紙あり		101
48			紀伊守	星野九右衛門		鍋島直員書状	15×13	包紙あり		102
49	七月十二日					鍋島直員書状	26×38	包紙あり		103
50	宝曆十三未七月十六日	1763				御書	20×16	包紙あり		100
51	天明元年丑十二月二日	1781				過去帳	25×35			124
52	卯九月		直亮	星野善兵衛		鍋島直亮胤方達書	45×65	包紙あり	佐県史28-25	47
53	文化十一年八月	1814	西村安右衛門	星野善兵衛		西村壽久起請文外傳	40×55		佐県史28-24	68
54	八月四日		攝津守	星野二右衛門		鍋島直與書状	42×50			48
55	六月廿五日		攝津守	星野二右衛門		鍋島直與書状	36×50		佐県史28-27	49
56	二月十五日		攝津守	星野仁右衛門		鍋島直與書状	43×50			53
57	十二月廿七日		攝津守	星野二右衛門		鍋島直與書状	38×50			54
58	二月廿日		丹波守	星野二右衛門		鍋島直永書状	35×45			50

59	八月朔日		丹波守	星野二右衛門	鍋島直永書状	38×48		55
60	二月廿八日		丹波守	星野仁右衛門	鍋島直永書状	38×48		56
61					佐賀三支藩成立推移書	25×120	佐県史28-11	67
62	□五月				別紙式通入	15×45	包紙あり	106
63			星野二右衛門		御書被仰下候三件御請左ニ申上候	15×60	包紙あり	107
64	六月廿五日		星野二右衛門		星野二右衛門書状	15×80	包紙あり	109
65					某書状	17×35	包紙あり	110
66	四月十四日		相浦太郎兵衛	持永治兵衛・中嶋文藏	口達覚	15×120	包紙あり	111
67					西湖山水 弐枚	26.5×4.5	包紙あり	112
68	六月九日				水害一件内要	21×26	包紙あり 佐県史28-29	116
69	午七月				某書状	16×130	包紙あり	117
70					某書状	18×45	包紙あり	118
71					請役被仰付	15×20		130
72					御勝手方被仰出	13×35		131
73					勤方之儀	15×40	包紙あり	132
74	天保五年五月	1834	星野二右衛門	中嶋千允	旧記方御前後帳引抜書	15×150	包紙あり	134
75					系図断片	15×20	包紙あり	135
76					國史略ノ抜書	18×5	包紙あり	136
77					國史略	18×10	包紙あり	137
78					系図	15×60	包紙あり 佐県史28-31	139
79					覚書	30×80	包紙あり	127
80					覚書	30×10	包紙あり	128
81					覚書	15×40	包紙あり	129
82	嘉永三庚戌年改元	1850			被官着到	18×25	佐県史28-33	126
83	安政四年十一月	1857			由緒書	25×20		125
84	卯三月		直虎	星野九右衛門	覚 御猟方	32×45	包紙あり	45
85					範 ノリ	32×45	包紙あり	123
86					甲曰	30×120	包紙あり	141
87					星野家略系図	30×110	包紙あり	143
88					ひつしの口	25×31	1 5丁	173
89	明和五年子正月	1768			由緒書	28×36		175

90							隅田川遊覧の日	20×100		179
91	七月三日						會試之件	17×42		186
92			星野二右衛門				筑後山中紀行	26×25		187
93	二月十八日	1873	縣廳				出参命令	15×30	包紙あり	145
94	明治六年二月	1873	佐賀縣			星野寛喬	親寛禎家督申付	20×28	包紙あり	146
95	明治六年二月	1873	佐賀縣			星野寛禎	隠居願差許	20×28	包紙あり	147
96						星野九右衛門	感状	21×29	包紙あり	152
97	三月廿五日		政府			星野九右衛門	出参命令	15×18	包紙あり	153
98	明治二年三月廿六日	1869					去年出師ノ輩～	26×40	包紙あり	154
99	明治二年三月廿六日	1869					覚書 (奥州出兵の褒美)	17×30	包紙あり	155
100							覚書 (奥羽出兵)	26×40	包紙あり	156
101							御手札	17.5×6	包紙あり 3 三枚157	158
102	三月廿五日		甚九郎 武一			星野九右衛門	出府命令	15×40	包紙あり	160
103	三月廿五日		政府				出府命令	15×20	包紙あり	161
104						星野九右衛門	感状	16×50	包紙あり	163
105	明治廿三年十二月廿六日	1890				星野範	御扶持代	20×35	包紙あり	181
106	西十二月三十一日		養田他			星野九郎右衛門	範女御扶持米	14×50	包紙あり	182
107	壬申七月	1872				範女	御扶持米	16×25	包紙あり	184
108	明治十五年八月十五日	1882				星野範	御扶持代	16×40	包紙あり	185
109							系図	35×28		34
110	寛政十年午八月	1798					宜為善兵衛	33×43		164
111							猶人	33×43		165
112							馬五郎	30×40		166
113	文政十三寅正月日	1830					宜為佐吉次郎	25×33		167
114							寛栗 ヒコカ	32×40		168
115							由緒書	23×30		169
116							要集一覽十五	25×30		170
117	文政元年寅十一月	1818					松崎氏系圖	31×40	佐 県史28-32	171
118							戒名覚書	27×35		172
119							系図	28×35		174
120							姓氏録卷四五ツ	26×25		176

121					直茂公御年譜之内	24×33	178
122	万延二年酉より	1861	星野氏		宗門管差出控	26×18	188
123					他邦より来翰其外古書入	29×36	189
124					善兵衛寛忠履歴	18×35	190
125					御代之継目御印	26×35	191
126					過去帳	16×45	192
127					某履歴	24×34	193

[ 附 ]

No	名称	法量 (cm) (たて×よこ×たかさ)		備考	報告書 No.			
1	木箱	蓋49.5×7.7×9 身48×6.2×9		「御朱印、星野」銘あり	—			
No	日付	西暦	差出人 (作者)	受取人	事項	法量 (cm) (たて×よこ)	備考	報告書 No.
2	慶應四年戊辰八月	1868			袖印 (肥州小城星野九右衛門寛禎)	8×17	包紙あり	150
3					こんぞく院様の御こての切	24×22	包紙あり 中に布片が入る	62

- ・ この一覧表は「星野家文書目録」(『小城市立歴史資料館中林梧竹記念館調査研究報告書第2集』2007)を再編集したものである。
- ・ 文書は戦国期、知行、藩政、由緒、明治期のものに分類しおおよそ年代順に並べ替えた

